

1. 開催日時 2021/9/16 14:00～17:15
2. 出席者（敬称略）：小林、横堀、橋本、郷、戸井田、松田、牛尾、山下、伊達 中尾（欠席）
3. 議題：
 - （1）第58回研究会議事録の確認
 - （2）入手情報紹介・情報交換：前回以降の関連会合情報等
 - （3）討議事項：中長期スク低減目標マップ関連の議論
 - （4）その他

(1) 第58回題議事録確認

- ・第58回議事録一部修正（参加者）して承認。

(2) 入手情報紹介・情報交換：前回以降の関連会合情報等の紹介

①8/20（金）原子力学会遮蔽設計手法

- ・放射線遮蔽に関わる話題（延原文祥（TNS），津田修一（JAEA））
- ・国内における放射線遮蔽に関する研究の歴史（橋本義大（日立 GE），
- ・放射線計測について（佐藤優樹（JAEA））
- ・原子力施設・放射線施設の廃止措置関連（古澤哲（TNS），梶本和義氏（KEK））

②8/20（金）技術士会講演会「エネルギーミックスの展望」秋元 圭吾（RITE）

- ・原子力発電は、カーボンニュートラル目標や▲46%目標下で重要な電源の一つ。しかし、再エネコスト低減によりコスト優位性が失われてきていることも事実。一方で、変動性再エネ統合コストの大きな増加を踏まえると、原子力を含む、バランスのとれたエネルギーミックスが重要。

③8/31（火）原子力白書説明（内閣府）

7月に発表された令和2年度版原子力白書の内容について、原子力委員会事務局白書担当から原子力学会員向けに以下の説明があった。1957年に原子力委員会が発足して以来、委員会の活動報告＝白書の位置づけであった。2011年の事故で原子力委員会の位置づけが見直され、7年間白書の発行が途絶えていた。

- ・特集（トピカルテーマ：福島第一原子力発電所事故後10年を迎えて）
- ・8章（「原子力利用に関する基本的考え方（H29.7閣議決定）」による年次活動報告。

④9/4（土）核融合科学研究所LHDのリモート見学（高畑氏：公開講座「原子力・放射能基礎論(2021)」講師(核融合技術の進展)）

⑤9/7（火）ANFURD（福島復興・廃炉推進に貢献する学協会連絡会）

開催されるという情報は入手していたが、開催されたかどうかは現時点不明。

⑥9/8（水）～9/10（金）日本原子力学会秋の大会

関連する発表は以下の通り。

- ・ 1I03：花王（南原、牛尾他）界面活性剤技術を利用した中性子吸収剤の開発
牛尾氏から発表概要説明。この総説は、2017, 2018, 2019 年の日本原子力学会秋の大会で発表した内容をまとめたもので第 20 回オレオサイエンス賞を受賞。
- ・ 2J06：佐藤（早大）ペDESTAL燃料デブリ深さの性状同定。debrisWiki の紹介あり。
- ・ 2EPL：1 F 廃炉検討委員会企画セッション
- ・ 3HPL：放射線工学部会企画セッション

(3) 討議事項：中長期リスク低減目標マップ関連の議論

1) 1 F の汚染水の状況の共有

- ・ 東京新聞の記事（「描けぬ福島汚染水 20210802」）をもとに 1 F 汚染水の状況を整理、共有した。
- ・ 汚染水の水の源は①地下水と②雨水の流入。
- ・ ①の地下水の流入防止目的で凍土壁、サブドレンからのくみ上げを行っているが、凍土壁で完全に遮蔽できていない、多数ある施設の貫通孔、クラック等から地下水が流入する。一方で、汚染水流出防止の点で、地下水位 > 建屋内水位を保つ必要があるのが現状。
- ・ ②の雨水対策では、建屋の屋根の補修、建屋と配管でつながったトレンチの止水、地面の舗装を進めているが、トレンチの止水は高放射線量が障壁、地面舗装はまだ全体の 25%（2023 年 50%を目指す）、機材があつて舗装がむずかしい箇所もあり不透明な状況。

2) Questionnaire についての議論

- ・ Questionnaire 表の当日の討議結果参照
- ・ 汚染水処理に対して A I を活用するという新規提案があり、次回研究会以降、継続して勉強、検討していくこととなった。
- ・ A I 勉強会（基礎の解説）の講師：松田氏。次回研究会から実施。

(4) その他

- 1) 次回研究会 10/29 (金) 14:00～17:00

以上